

The 121st Financial Statements

株主の皆様へ

第121期 報告書
2019.04.01>2020.03.31

 東邦亜鉛株式会社

証券コード: 5707

TOHO ZINC CO., LTD.

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔み申し上げますとともに、闘病中の皆様には心よりお見舞い申し上げます。また、医療関係者をはじめ、感染拡大防止に尽力されている多くの方々に深く感謝申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、消費税増税に伴う個人消費の縮小等に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により年度末に向けて急速に悪化し、極めて厳しい状況となりました。

当社グループの当連結会計年度の業績は、亜鉛及び鉛相場下落や亜鉛の減販、豪州の鉱山会社CBH Resources Ltd. (以下、「CBH社」という。)におけるエンデバー鉱山の減産などの影響から製錬事業及び資源事業で大きく減収となったことにより、売上高は974億45百万円と前期比201億6百万円(17%)の減収となりました。

損益面では、在庫評価損の計上に加え、非鉄ス

ラグ製品の処理費用の計上などから製錬セグメントで59億円、エンデバー鉱山の計画減産等の影響から資源セグメントで79億円の減益となりました。環境・リサイクル事業も亜鉛価格の下落などにより減益となりました。以上の結果、営業損失は142億17百万円と前期比147億48百万円、経常損失は144億37百万円と前期比154億6百万円の大幅減益となりました。さらに、金属相場の前提に対する下振れ及び採掘計画の見直しの結果、CBH社ラスプ鉱山で18億95百万円、エンデバー鉱山で12億74百万円の減損損失を計上しました。これにより、親会社株主に帰属する当期純損失は183億64百万円と前期比158億14百万円の減益となり、最終赤字を計上するに至りました。

なお、当期の期末配当金につきましては、前連結会計年度より継続して損失を計上していることから、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきます。

2020年度につきましては、新型コロナウイルス感染の収束が見えないなか外部環境が一段と不

(単位：百万円)

区分	売上高	営業利益 又は損失(△)	経常利益 又は損失(△)	親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失(△)
第121期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	97,445	△14,217	△14,437	△18,364
第120期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	117,551	531	969	△2,550
増 減	△20,106	△14,748	△15,406	△15,814
増減率(%)	△17	—	—	—
第122期 業績予想	87,300	1,480	1,000	3,280

金属価格・為替の予想	亜鉛	鉛	銀	為替
(前提条件)	1,900 (米\$/t)	1,700 (米\$/t)	15.0 (米\$/toz)	108.00 (円/米\$)

透明であります。経営陣一同全力を尽くして黒字化を目指します。また、次期中期3ヵ年経営計画を含めた4年間で、資源事業における鉱山ポートフォリオの見直しや製錬事業における亜鉛事業の競争力強化を推進することにより、金属相場の

下落リスクを抑え安定収益を確保できる体制を構築し、財務体質の健全性回復を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

区分	亜鉛（月平均）		鉛（月平均）		銀（月平均）		為替レート（月平均）	
	LME相場	国内価格	LME相場	国内価格	ロンドン相場	国内価格	円/米ドル	米ドル/豪ドル
	\$/t	¥/t	\$/t	¥/t	\$/toz	¥/kg	¥/\$	US\$/A\$
2018年3月	3,280	394,400	2,397	316,000	16.5	57,650	106.07	0.7768
6月	3,092	389,000	2,441	333,000	16.5	59,870	110.03	0.7494
9月	2,433	320,500	2,028	292,000	14.3	52,700	111.91	0.7197
12月	2,626	345,100	1,965	286,000	14.7	54,320	112.51	0.7187
2019年3月	2,851	365,800	2,055	294,900	15.3	56,120	111.24	0.7076
6月	2,602	332,500	1,892	267,800	15.0	53,520	108.12	0.6945
9月	2,320	299,400	2,071	284,200	18.2	64,430	107.45	0.6800
12月	2,274	299,800	1,899	272,200	17.1	61,350	109.24	0.6872
2020年3月	1,906	259,400	1,745	249,200	14.9	54,000	107.41	0.6235

※LMEとは、ロンドンにある世界最大規模の非鉄金属の取引所です。

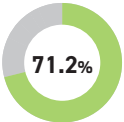

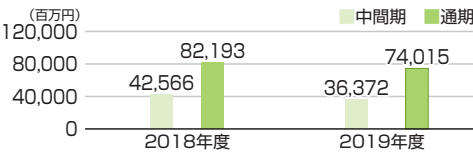
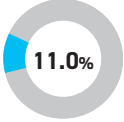

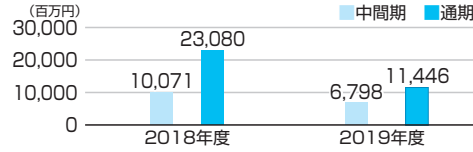
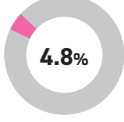

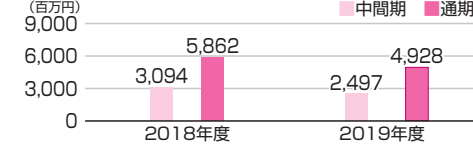
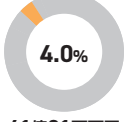

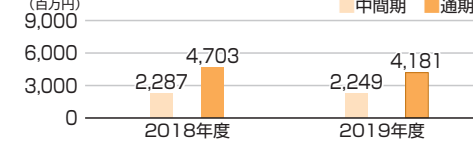
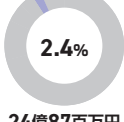

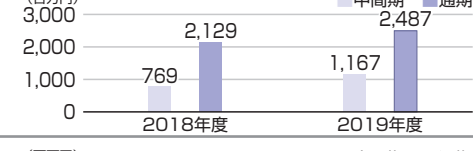
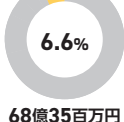

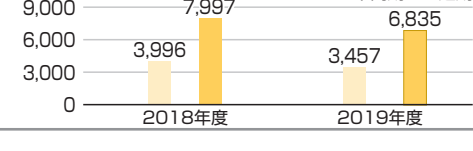
経営理念

- 1 “顧客”を満足させる良質の製品・サービスを提供する。
- 2 “株主”の期待に応える業績をあげ、企業価値の増大を図る。
- 3 “従業員”の生活を向上させ、働き甲斐のある会社にする。
- 4 “地域”の一員として認められ、地域にとって存在価値のある会社を目指す。



代表取締役社長 丸崎 公康

事業部門別の概況

	売上高・構成比		売上高の推移									
製錬事業部門	 <p>71.2%</p> <p>740億15百万円</p>		<p>(百万円)</p>  <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>中間期</th> <th>通期</th> </tr> <tr> <td>2018年度</td> <td>42,566</td> <td>82,193</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>36,372</td> <td>74,015</td> </tr> </table>	年度	中間期	通期	2018年度	42,566	82,193	2019年度	36,372	74,015
年度	中間期	通期										
2018年度	42,566	82,193										
2019年度	36,372	74,015										
資源事業部門	 <p>11.0%</p> <p>114億46百万円</p>		<p>(百万円)</p>  <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>中間期</th> <th>通期</th> </tr> <tr> <td>2018年度</td> <td>10,071</td> <td>23,080</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>6,798</td> <td>11,446</td> </tr> </table>	年度	中間期	通期	2018年度	10,071	23,080	2019年度	6,798	11,446
年度	中間期	通期										
2018年度	10,071	23,080										
2019年度	6,798	11,446										
電子部材事業部門	 <p>4.8%</p> <p>49億28百万円</p>		<p>(百万円)</p>  <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>中間期</th> <th>通期</th> </tr> <tr> <td>2018年度</td> <td>3,094</td> <td>5,862</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>2,497</td> <td>4,928</td> </tr> </table>	年度	中間期	通期	2018年度	3,094	5,862	2019年度	2,497	4,928
年度	中間期	通期										
2018年度	3,094	5,862										
2019年度	2,497	4,928										
環境・サイクル事業部門	 <p>4.0%</p> <p>41億81百万円</p>		<p>(百万円)</p>  <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>中間期</th> <th>通期</th> </tr> <tr> <td>2018年度</td> <td>2,287</td> <td>4,703</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>2,249</td> <td>4,181</td> </tr> </table>	年度	中間期	通期	2018年度	2,287	4,703	2019年度	2,249	4,181
年度	中間期	通期										
2018年度	2,287	4,703										
2019年度	2,249	4,181										
未・建築・プラントエンジニアリング事業部門	 <p>2.4%</p> <p>24億87百万円</p>		<p>(百万円)</p>  <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>中間期</th> <th>通期</th> </tr> <tr> <td>2018年度</td> <td>769</td> <td>2,129</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>1,167</td> <td>2,487</td> </tr> </table>	年度	中間期	通期	2018年度	769	2,129	2019年度	1,167	2,487
年度	中間期	通期										
2018年度	769	2,129										
2019年度	1,167	2,487										
その他事業部門	 <p>6.6%</p> <p>68億35百万円</p>		<p>(百万円)</p>  <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>中間期</th> <th>通期</th> </tr> <tr> <td>2018年度</td> <td>3,996</td> <td>7,997</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>3,457</td> <td>6,835</td> </tr> </table>	年度	中間期	通期	2018年度	3,996	7,997	2019年度	3,457	6,835
年度	中間期	通期										
2018年度	3,996	7,997										
2019年度	3,457	6,835										

※各事業部門の売上高には、事業部門間売上高を含みます。

当期概況

《亜鉛》

相場下落と減販の影響から、売上高は前期比18%の減収となりました。

《鉛》

相場下落により、売上高は前期比5%の減収となりました。

《銀》

相場が上昇したことから、売上高は前期比10%の増収となりました。

以上のほか、硫酸などその他の製品を合わせた当事業部門の業績は、金属相場下落に加えて亜鉛の減販もあり、前期比で減収となりました。営業利益は、急激な亜鉛相場下落による多額の在庫評価損や非鉄スラグ製品の処理費用を計上したことから、前期比59億17百万円の大幅な減益となり、100億67百万円の営業損失となりました。

エンデバー鉱山では、鉱量減少による計画減産に伴い採算が悪化する結果となりました。また、2019年末より休山に移行したことから原状回復費用の積み増し等のリストラ費用を計上するに至りました。ラスブ鉱山でも生産性が悪化したことに加え、金属相場下落などの悪化要因が重なり、売上高は前期比で減収、営業損益は前期比79億33百万円の大幅な減益により54億44百万円の営業損失となりました。

《電子部品》

ハイブリッド車向けの新製品販売は順調であったものの、米中貿易摩擦の影響等により、売上高は前期比17%の減収となりました。

《電解鉄》

世界のトップシェアを誇る電解鉄は、航空機用特殊鋼が前年実績を上回ったものの、米中貿易摩擦の影響によりその他用途で減販となり、売上高は前期比若干の減収となりました。

《プレーティング（金、銀、錫、ニッケル等のメッキ材）》

電動工具電池端子用は順調であったものの、自動車部品等その他の用途向けが不調であり、売上高は前期比27%の減収となりました。

《機器部品》

タイヤ用バランスウエイト部門、粉末冶金部門ともに低調となり、売上高は前期比19%の減収となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は前期比で減収となり、営業利益は4億34百万円と前期比1億54百万円（26%）の減益となりました。

主力製品の酸化亜鉛は、亜鉛の国内価格が前期比で下落したこと及び減販により減収となりました。使用済みニカド電池の処理や硫酸リサイクル事業についても前期比減収となり、売上高は減収となりました。営業利益は7億62百万円と前期比5億63百万円（43%）の減益となりました。

プラントエンジニアリング事業で前期に不採算案件に係る損失を計上しましたが、当期は当該案件の損失が大幅に減少したこともあり、前期比7億17百万円の増益となりました。

《防音建材（商品名：ソフトカーム）事業》

住宅着工数減等の影響で減収となったものの、医療向けX線遮蔽材鉛板の需要が回復したことに加え、原材料価格の低下により、前期比で増益となりました。

《運輸事業》

運送荷物やリサイクル原料等の扱ひ量の減少などから、売上高は前期比13%の減収となりました。

以上のほか、環境分析事業を合わせた当事業部門の売上高は前期比で減収となり、営業利益は4億16百万円と前期比8百万円（2%）の減益となりました。

連結決算の概況

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前 期 (2019年3月31日現在)	当 期 (2020年3月31日現在)	科 目	前 期 (2019年3月31日現在)	当 期 (2020年3月31日現在)
〔資産の部〕			〔負債の部〕		
流動資産	72,984	59,301	流動負債	47,844	50,690
固定資産	57,247	58,031	固定負債	26,885	30,334
有形固定資産	38,945	39,038	負債合計	74,730	81,024
無形固定資産	11,854	11,014	〔純資産の部〕		
投資その他の資産	6,447	7,978	株主資本	45,440	26,125
			資本金	14,630	14,630
			資本剰余金	9,876	9,876
			利益剰余金	20,963	1,648
			自己株式	△30	△30
			その他の包括利益累計額	10,060	10,183
			その他有価証券評価差額金	657	207
			繰延ヘッジ損益	110	1,036
			土地再評価差額金	8,997	8,997
			為替換算調整勘定	180	58
			退職給付に係る調整累計額	113	△116
			純資産合計	55,501	36,309
資産合計	130,231	117,333	負債・純資産合計	130,231	117,333

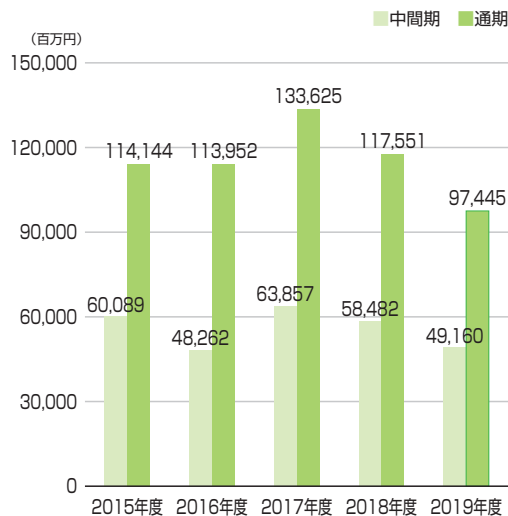
連結損益計算書

(単位：百万円)

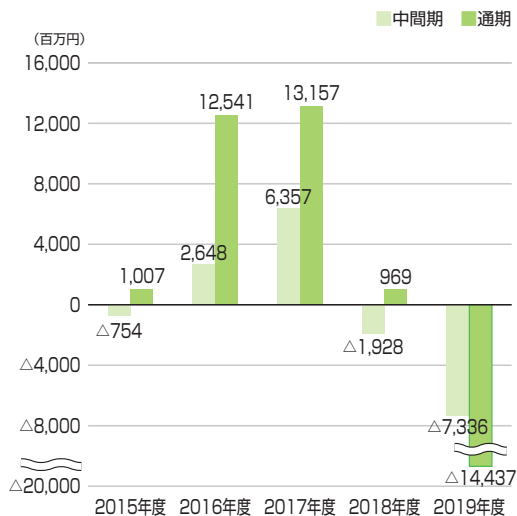
科 目	前 期 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)	当 期 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)
売上高	117,551	97,445
売上原価	107,902	103,073
売上総利益又は売上総損失 (△)	9,649	△5,628
販売費及び一般管理費	9,118	8,588
営業利益又は営業損失 (△)	531	△14,217
営業外収益	1,199	1,274
営業外費用	762	1,494
経常利益又は経常損失 (△)	969	△14,437
特別利益	126	47
特別損失	4,907	3,509
税金等調整前当期純損失 (△)	△3,812	△17,900
法人税、住民税及び事業税	129	184
法人税等調整額	△1,391	279
当期純損失 (△)	△2,550	△18,364
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△2,550	△18,364

●記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

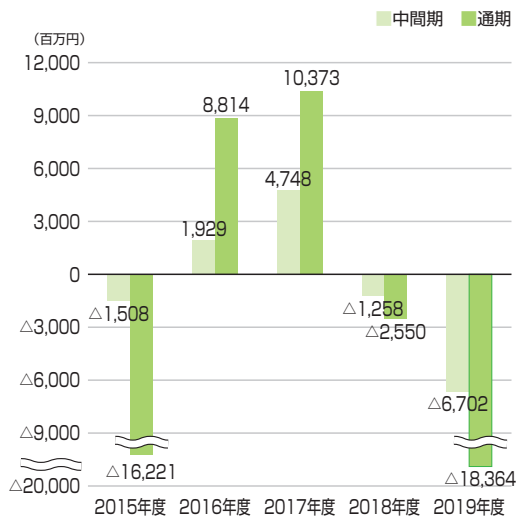
▶ 売上高の推移



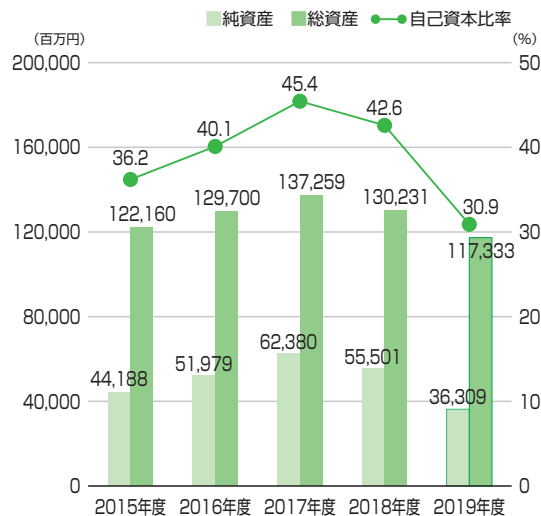
▶ 経常利益の推移



▶ 親会社株主に帰属する当期純利益の推移



▶ 純資産、総資産、自己資本比率の推移



個別決算の概況

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前 期 (2019年3月31日現在)	当 期 (2020年3月31日現在)	科 目	前 期 (2019年3月31日現在)	当 期 (2020年3月31日現在)
〔資産の部〕			〔負債の部〕		
流動資産	65,175	55,048	流動負債	44,461	44,287
固定資産	50,231	51,034	固定負債	23,540	25,349
有形固定資産	30,279	30,137	負債合計	68,001	69,636
無形固定資産	62	54	〔純資産の部〕		
投資その他の資産	19,889	20,842	株主資本	37,643	26,210
			資本金	14,630	14,630
			資本剰余金	9,876	9,876
			利益剰余金	13,166	1,733
			自己株式	△30	△30
			評価・換算差額等	9,761	10,237
			その他有価証券評価差額金	653	202
			繰延ヘッジ損益	110	1,036
			土地再評価差額金	8,997	8,997
			純資産合計	47,405	36,447
資産合計	115,406	106,083	負債・純資産合計	115,406	106,083

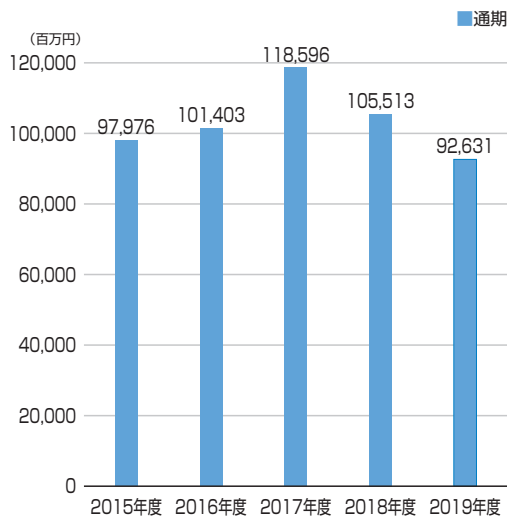
損益計算書

(単位：百万円)

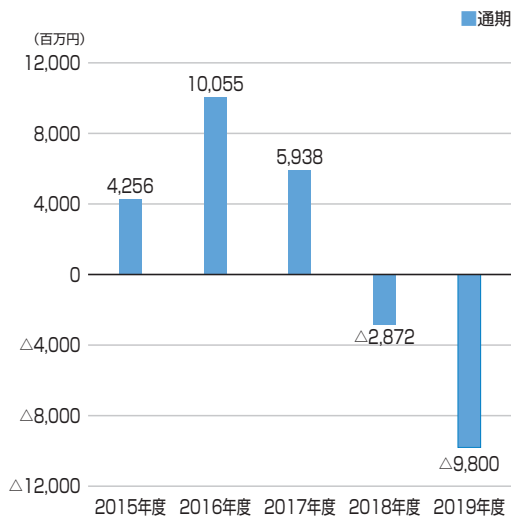
科 目	前 期 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)	当 期 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)
売上高	105,513	92,631
売上原価	102,999	97,063
売上総利益又は売上総損失 (△)	2,513	△4,432
販売費及び一般管理費	5,205	4,855
営業損失 (△)	△2,692	△9,287
営業外収益	559	834
営業外費用	740	1,346
経常損失 (△)	△2,872	△9,800
特別利益	109	12
特別損失	568	326
税引前当期純損失 (△)	△3,331	△10,113
法人税、住民税及び事業税	35	92
法人税等調整額	△1,146	276
当期純損失 (△)	△2,220	△10,483

●記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

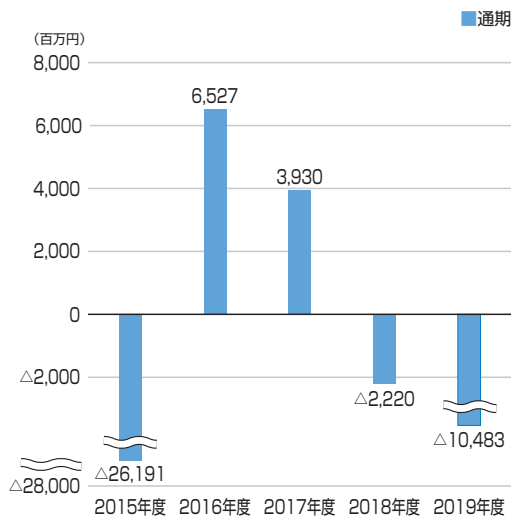
▶ 売上高の推移



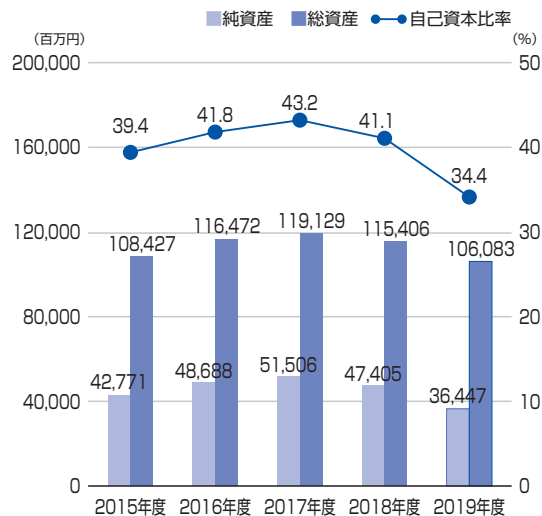
▶ 経常利益の推移



▶ 当期純利益の推移



▶ 純資産、総資産、自己資本比率の推移



会社の概要

- **本 社** 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
電話 (03) 6212-1711 (代表)
- **設 立** 1937年3月5日
- **資 本 金** 14,630,708,899円 (2020年3月31日現在)
- **従業員数** 単体：701名、連結：1,105名 (2020年3月31日現在)
- **事業内容** 製錬事業、資源事業、電子部材事業、環境・リサイクル事業、防音建材事業

■ 主要製品

製錬事業部門

亜鉛、亜鉛合金、鉛、鉛合金、銀、カドミウム、
ビスマス、新ハイアンチ合金、硫酸、
酸化カドミウム

資源事業部門

亜鉛鉱石、鉛鉱石

電子部材事業部門

タクロンコイル (SK・HK・FK・SMD)、
トランス、電解鉄(マイロン・アトミロン)、プレー
ティング製品、粉末冶金製品、バランスウエイト

環境・リサイクル事業部門

酸化亜鉛、硫酸銅、廃棄物リサイクル、
リサイクル関連機器

防音建材 (ソフトカーム) 事業部門

鉛防音建材、制振遮音材、防音ドア、
音響測定、X線防護材、X線防護屏

- **事 業 所** 安中製錬所 (群馬県)、契島製錬所 (広島県)、小名浜製錬所 (福島県)、藤岡事業所 (群馬県)
- **支 店** 大阪支店、名古屋支店

■ 重要な子会社の状況

会社名	資本金	当社の議決権比率 (%)	主要な事業内容
(株)ティーディーイー	100百万円	100	土木・建築・プラントエンジニアリング業
安中運輸(株)	20百万円	100	運輸業
契島運輸(株)	30百万円	100	運輸業
東邦キャリア(株)	10百万円	100	運輸業
(株)中国環境分析センター	10百万円	100	環境分析業
CBH Resources Ltd.	480百万豪ドル	100	鉱山業

■ 取締役 (2020年6月26日現在)

代表取締役社長 丸崎 公康

取締役兼副社長執行役員 今井 力 技術・開発本部長

取締役兼専務執行役員 山岸 正明 管理本部長兼財務部長
兼システム統括部長

取締役 武藤 雅俊 常勤監査等委員
(社外取締役)

取締役 多田 稔 監査等委員
(社外取締役)

取締役 乙葉 敏夫 監査等委員

■ 執行役員 (2020年6月26日現在)

常務執行役員 田島 義巳 亜鉛・鉛事業本部長
兼機器部品事業部長
兼環境・リサイクル事業部担当

常務執行役員 伊藤 正人 電子部品事業本部長
兼電子部品事業部長
兼藤岡事業所長

執行役員 大久保 浩 総務本部長
兼総務部長
兼CSR推進室長

執行役員 飯塚 茂 契島製錬所長

執行役員 中川 英樹 資源事業部長
兼資材統括部長
兼ソフトカム事業部担当

執行役員 森田 英治 安中製錬所長

ホームページのご案内

決算短信等、最新の会社情報を当社ホームページの「IR情報」に掲載しております。今後も、株主・投資家の皆様にお役立ていただけるよう工夫を加え、掲載情報のより一層の充実を図ってまいります。



▲トップページ
<http://www.toho-zinc.co.jp/>



▲IRサイト
<http://www.toho-zinc.co.jp/ir/>



- A** 本社
- B** 大阪支店
- C** 名古屋支店
- D** 安中製錬所
- E** 契島製錬所
- F** 小名浜製錬所
- G** 藤岡事業所

契島製錬所



小名浜製錬所



安中製錬所



藤岡事業所



- A** 大連天馬電器有限公司（中国：大連）
- B** 天津東邦鉛資源再生有限公司（中国：天津）
- C** 諸城華日粉末冶金有限公司（中国：諸城）
- D** 東邦亜鉛(上海)貿易有限公司（中国：上海）
- E** 東邦亜鉛香港有限公司（中国：香港）

東邦亜鉛香港有限公司



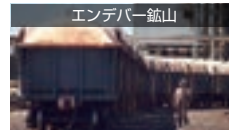
諸城華日粉末冶金有限公司



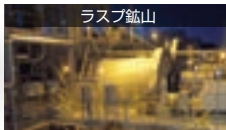
CBH Resources Limited
Level 10, 99 Mount Street,
North Sydney NSW 2060 Australia

- A** 本社
- B** ラスブ鉱山
- C** エンデバー鉱山
- D** ニューキャッスル港

エンデバー鉱山



ラスブ鉱山



ニューキャッスル港



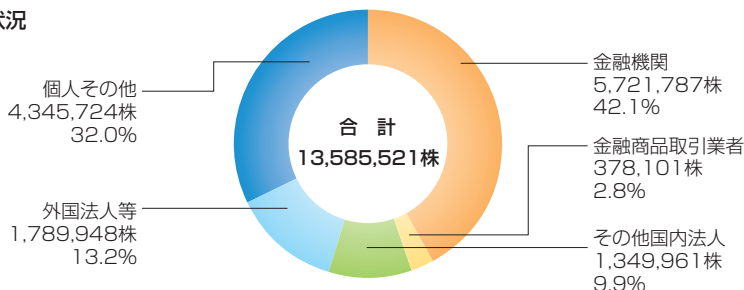
株式の状況 (2020年3月31日現在)

- 発行可能株式総数……………26,400,000株
- 発行済株式の総数……………13,585,521株
- 株 主 数……………10,589名
- 大 株 主

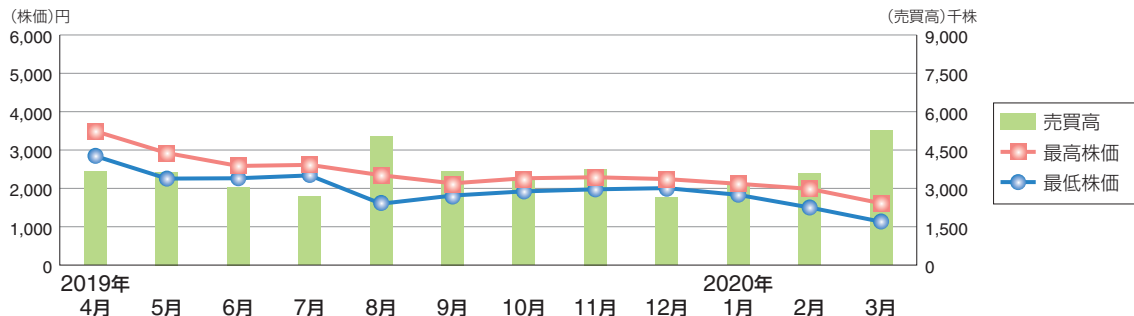
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,491,100	18.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	950,500	7.00
三菱商事RtMジャパン株式会社	400,075	2.95
三菱UFJ信託銀行株式会社	267,500	1.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	242,500	1.79
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	237,400	1.75
JP MORGAN CHASE BANK 385151	226,424	1.67
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	213,200	1.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	208,300	1.53
株式会社扇谷	200,375	1.48

(注) 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

● 株式所有者別分布状況



● 株価及び売買高の推移 (東京証券取引所)



株式についてのご案内

- **事業年度** 4月1日～翌年3月31日
- **基準日** 3月31日、その他必要により取締役会で決議した日
- **配当金支払
株主確定日** 3月31日及び中間配当を実施するときは9月30日
- **定時株主総会** 毎年6月
- **公告の方法** 電子公告 <http://www.toho-zinc.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由により電子公告による
公告をすることができない場合は、日本経済新聞
に掲載いたします。
- **単元株式数** 100株
- **株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- (お問い合わせ先) 東京都府中市日鋼町1番1号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル0120-232-711
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様へのお知らせ

■配当金のお受け取り方法について

配当金のお受け取りにつきましては、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口において配当金領収証と引換えにお受け取りいただく方法のほかに、より安全で確実な方法として、ご指定の銀行口座またはゆうちょ銀行の貯金口座へ継続的に振り込みする方法がございます。また、証券会社に口座を開設されている場合は、証券総合口座等へのお振り込みも可能です。

お振込をご希望される場合は、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせのうえ、お手続きをお願いいたします。

■支払期間経過後の配当金について

未受領の配当金のご照会につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

■特別口座及び口座振替について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様のご所有株式は、三菱UFJ信託銀行株式会社に開設された「特別口座」に記録されています。

特別口座では、単元株の売買ができないなどお取引に一定の制限があります。円滑なお取引を行うためにも、特別口座から証券会社等に開設された株主様の口座に株式を振替えること(＝口座振替)をおすすめします。お手続きの詳細につきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

■単元未満株式買取及び買増のご請求について

株主様をご所有の単元未満株式(1~99株)を当社が買取らせていただく制度がございます。また、株主様をご所有の単元未満株式を単元株式とするため、必要な数の株式を買増する制度がございます。単元未満株式の買取及び買増請求につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせのうえ、お手続きをお願いいたします。

<http://www.toho-zinc.co.jp>

 **東邦亜鉛株式会社**

〒100-8207

東京都千代田区丸の内一丁目 8 番 2 号 鉄鋼ビルディング

Tel : 03 - 6212 - 1711 Fax : 03 - 3284 - 1521

TOHO ZINC CO., LTD.